独立行政法人　国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校
教養教育科（情報学）教員公募

１．職名及び人員　　准教授、講師のいずれか１名

２．所属学科　　教養教育科

３．専門分野　　情報学

４．担当科目　　情報処理Ⅰ、情報セキュリティ概論、情報処理Ⅱ、データサイエンス概論、デザイン基礎、創造工学など

５．応募資格
（１）修士以上の学位またはそれに準ずる資格を有する方（採用までに学位取得見込の方を含む。）
（２）高等学校の「情報Ⅰ・Ⅱ」レベルと数理・データサイエンス・AI 教育の「リテラシーレベル」の各講義とともに、音楽・美術等の分野でのデジタル・アートに関する自身の実務経験・創造活動に基づいて創造的科目が担当でき、さらに本科「卒業研究」、専攻科「特別研究」の指導にも意欲のある方
（３）心身ともに健康で、高等専門学校における低学年からの学生の教育、学生指導、研究に関心があり、クラス担任、クラブ指導、および学生寮の学生指導等に理解と熱意を持っている方
（４）学生およびその保護者と良好なコミュニケーションが取れる方
（５）本校の教育理念に基づき、運営等に協調して参画できる方

６．本公募で求める教員人物像

様々な分野で DX 化、生成 AI 導入が急速に進行しており、製造業においても労働力不足と熟練技能者枯渇の深刻化にともない、AI 導入による生産の自律的自動化が推進されている。モノづくりの原点である「手仕事」の基本要素には身体動作と感覚があるが、現状の高度情報人材育成では、数値化・言語化された情報の処理に重点が置かれており、身体動作・感覚を情報として学ぶ機会は少ない。本校では、アートの分野に秀でた能力を持ち、身体動作・感覚の言語化・数値化に取り組むことによって、「手仕事」と情報学との橋渡しとなる人材を育成する。

本公募では、本校全学科の学生が履修する共通情報学教科を担当できるとともに、視覚・聴覚・体性感覚等の観点からアートと情報学の接点に関する教育・研究を担当できる教員を求める。ここでいうアートとは音楽、美術、スポーツ、伝統工芸などを想定しているが、本公募では音楽・美術及びその周辺分野を対象とする。

情報学にバックグラウンドがある方は修士以上の学位を有し、デジタル・アート表現の分野に実績のある方が望ましい。一方、音楽(音響)、美術(造形芸術)等でのデジタル創造活動歴がある方については、修士以上の学位を有することが応募資格であるが、それに代わる資格・表彰等があれば応募可とする。

７．採用予定年月日　２０２６年４月１日　以降のなるべく早い時期

８．提出書類
（１）履歴書　（様式１）
（２）教育の指導歴等（様式２）

（３）研究もしくは創造活動歴（様式３）
（４）著書・論文、作品等一覧（様式４）
（５）主要論文の要約（各 200 字程度、３編以内、様式自由）
（６）主要論文の別刷り各１部（３編以内、コピー可）
（７）（５）、（６）に代わる資料 （創造作品あるいは製品に関する資料）
（８）教育・研究に対する抱負等（様式５）
（９）応募者について所見を伺える方２名の氏名・連絡先（氏名、所属、住所、電話番号、E-mail アドレス）を明記した書類
（１０）その他参考となる資料（例：特許、自主編纂の教科書、問題集、e-learning 教材など）

９．応募期限　　２０２５年 １２月 ５日（金）１７時必着

１０．選考方法　　（１）書類審査
（２）面接および模擬授業（書類審査合格者）
※ 面接等に関わる旅費等は応募者負担とします。

１１．応募書類提出先　　〒510－0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 総務課人事給与係
Tel: 059-368-1712
※　封筒表面に「教養教育科（情報学）教員応募書類在中」と朱書し簡易書留で郵送すること。 原則として応募書類は返却いたしません。なお、応募者の個人情報は、鈴鹿工 業高等専門学校の教員を採用する目的だけに利用するものであり、第三者に提供または公表することはありません。

１２．問い合わせ先　　鈴鹿工業高等専門学校　教養教育科　教授　林　浩士
Tel: 059-368-1751　　E-mail: hayashi@genl.suzuka-ct.ac.jp

１３．そ の 他　　（１） 本校では採用に際して男女共同参画に配慮した採用選考を行います。業績（教育業績、研究業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。
（２）応募に必要な各様式については、鈴鹿工業高等専門学校ホームページ（https://www.suzuka-ct.ac.jp）の「教職員採用情報」からダウンロードして利用してください。
（３）業務上の必要があるときは、他の国立高等専門学校等へ異動することがあります。